

## 2018 年

### 【英文原著・症例報告】

- 1) Maeda M, Muraki Y, Kosaka T, Yamada T, Aoki Y, Kaku M, Kawaguchi T, Seki M, Tanabe Y, Fujita N, Morita K, Yanagihara K, Yoshida K, Niki Y.  
: The first nationwide survey of antimicrobial stewardship programs conducted by the Japanese Society of Chemotherapy.  
*J Infect Chemother*  
2018 Nov 22. pii: S1341-321X(18)30452-5. doi: 10.1016/j.jiac.2018.11.001.
  
- 2) Imai S, Yamada T, Kasashi K, Ninuma Y, Kobayashi M, Iseki K.  
: Construction of a risk prediction model of vancomycin-associated nephrotoxicity to be used at the time of initial therapeutic drug monitoring: A data mining analysis using a decision tree model.  
*J Eval Clin Pract* 2018 Oct 2. Doi: 10.1111/jep.13039.
  
- 3) Kagami K, Imai S, Tazawa Y, Iwasaki S, Fukumoto T, Akizawa K, Yamada T, Ishiguro N, Iseki K.  
: Possibility of poor outcomes after treatment using teicoplanin at the minimum inhibitory concentration of  $> 2 \mu\text{g/mL}$  in methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* bacteremia.  
*YAKUGAKU ZASSHI* **138** : 1181-1189, 2018.
  
- 4) Yamada T, Imai S, Kagami K, Koshizuka Y, Tazawa Y, Kagami K, Tomiyama N, Sugawara R, Yamagami A, Shimamura T, Iseki K.  
: Necessity for a significant maintenance dosage reduction of voriconazole in patients with severe liver cirrhosis (Child-Pugh class C).  
*Biol Pharm Bull* **41**: 1112-1118, 2018.
  
- 5) Ishiguro Y, Kobayashi M, Ideno M, Narumi K, Furugen A, Iseki K.  
: Valproate sensitizes human glioblastoma cells to 3-bromopyruvate-induced cytotoxicity.  
*Int J Pharm.* 2018 Nov 15;551(1-2):97-102. doi: 10.1016/j.ijpharm.2018.08.039.
  
- 6) Nihei S, Sato J, Harada T, Kuyama S, Suzuki T, Waga N, Saito Y, Kisara S, Yokota A, Okada K, Tsuchiya M, Terui K, Tadokoro Y, Chiba T, Kudo K, Oizumi S,

- Inoue A, Morikawa N.  
:Antiproteiuric effects of renin-angiotensin inhibitors in lung cancer patients receiving bevacizumab.  
*Cancer Chemother Pharmacol* 2018 Apr 12. Doi: 10.1007/s00280-018-3580-1.
- 7) Kimura Y, Kobayashi M, Asari M, Higuchi I, Narumi K, Furugen A, Iseki K.  
: Genetic variations in the monocarboxylate transporter genes (SLC16A1, SLC16A3, and SLC16A11) in the Japanese population.  
*Drug Metab Pharmacokinet.* 2018 Oct;33(5):215-218.  
doi:10.1016/j.dmpk.2018.05.001.
- 8) Ishiguro Y, Furugen A, Narumi K, Nishimura A, Hirano T, Kobayashi M, Iseki K.  
: Valproic acid transport in the choriocarcinoma placenta cell line JEG-3 proceeds independently of the proton-dependent transporters MCT1 and MCT4.  
*Drug Metab Pharmacokinet* 2018 Apr 5. Pii: S1347-4367(17)30550-5. Doi: 10.1016/j.dmpk.2018.03.004.
- 9) Kurosawa Y, Furugen A, Nishimura A, Narumi K, Kobayashi M, Iseki K.  
:Evaluation of the effects of antiepileptic drugs on folic acid uptake by human placental choriocarcinoma cells.  
*Toxicol In Vitro.* 2018 Apr;48:104-110. doi:10.1016/j.tiv.2017.12.003.
- 10) Tanaka K, Nakamura T, Imai S, Kushiya H, Miyasaka D, Nakanishi Y, Asano T, Noji T, Tsuchikawa T, Okamura K, Shichinohe T, Hirano S.  
: The Use of Broad-spectrum Antibiotics Reduces the Incidence of Surgical Site Infections after Pancreatoduodenectomy.  
*Surgery Today* 2018 Apr 23. Doi: 10.1007/s00595-018-1658-3.
- 11) Ideno M, Kobayashi M, Sasaki S, Futagi Y, Narumi K, Furugen A, Iseki K.  
: Involvement of monocarboxylate transporter 1 (SLC16A1) in the uptake of l-lactate in human astrocytes.  
*Life Sciences* **192**: 110-114, 2018.
- 12) Futagi Y, Kobayashi M, Narumi K, Furugen A, Iseki K.  
: Identification of a selective inhibitor of human monocarboxylate transporter 4.  
*Biochem Biophys Res Commun* **495**: 427-432, 2018.

- 13) Kubota A, Kobayashi M, Sarashina S, Takeno R, Okamoto K, Narumi K, Furugen A, Suzuki Y, Takahashi N, Iseki K.  
: Reishi mushroom *Ganoderma lucidum* Modulates IgA production and alpha-defensin expression in the rat small intestine.  
*Journal of Ethnopharmacology* **214**: 240-243, 2018.

【和文原著・症例報告】

- 1) 久保田康生, 齋藤佳敬, 原田幸子, 深井敏隆, 井関 健.  
: 院外処方せん付帯情報を用いた情報連携に関する患者の意識調査.  
*日病薬誌* **54** : 1488-1492; 2018.
- 2) 新沼悠介, 今井俊吾, 富山直樹, 鏡 圭介, 山神 彰, 山田武宏, 小林正紀, 石黒信久, 福元達也, 井関 健.  
: 血液培養陽性患者における de-escalation の実施状況とその有用性調査.  
*北海道病院薬剤師会誌*【査読無】 **95** : 9-12, 2018.
- 3) 齋藤佳敬, 原田幸子, 小林正紀, 植田孝介, 山崎浩二郎, 熊井正貴, 宮本剛典, 笠師久美子, 山田武宏, 小松嘉人, 井関 健.  
: 外来化学療法におけるがん専門薬剤師による長期継続的な薬学的患者管理の有用性の検討.  
*YAKUGAKU ZASSHI* **138** : 1409-1416; 2018.
- 4) 岩崎澄央, 小山田玲子, 渡邊 翼, 蓮池清美, 中村澄人, 山田武宏, 大庭幸治, 石黒信久.  
: 医療従事者における組み換え沈降 B 型肝炎ワクチン接種後の HBs 抗体持続期間に関する検討  
*環境感染誌* **33**: 117-122, 2018.
- 5) 田澤佑基, 鏡 圭介, 渡辺祐子, 久保田康生, 原田幸子, 小林正紀, 山田武宏, 井関 健.  
: 製剤組成が異なる 2 種類のインドメタシン口腔スプレーの安定性評価  
*YAKUGAKU ZASSHI* **138**: 565-570, 2018.

【ガイドライン・委員会報告・総説】

- 1) 川口辰哉, 賀来満夫, 青木洋介, 小阪直史, 関 雅文, 田邊嘉也, 藤田直久, 前田真之, 村木優一, 森田邦彦, 柳原克紀, 山田武宏, 吉田耕一郎.  
: (委員会報告) 日本化学療法学会 抗微生物薬適正使用推進検討委員会 抗菌薬適正使用支援プログラム (antimicrobial stewardship programs ; ASPs) 全国調査アンケート—2018 年度診療報酬改定前の現状調査—  
日本化学療法学会雑誌 **66**: 700-703; 2003

【その他著書】

- 1) 鈴木幸司、小泉貴寛、井関 健  
: 連載 医薬品情報 (DI) 室より 注目の新薬情報 リンゼス®錠 0.25mg  
医薬ジャーナル 54 巻第 2 号 (2018 年 2 月) 医薬ジャーナル社, 155-157.
- 2) 小泉貴寛、鈴木幸司、井関 健  
: 連載 医薬品情報 (DI) 室より 注目の新薬情報 ベンリスタ®点滴静注用 120mg, 同 400mg/ベンリスタ®皮下注 200mg オートインジェクター、同シリンジ. 医薬ジャーナル 54 巻第 4 号 (2018 年 4 月) 医薬ジャーナル社, 159-161.
- 3) 小泉貴寛、鈴木幸司、井関 健  
: 連載 医薬品情報 (DI) 室より 注目の新薬情報 アメナリーフ®錠 200mg  
医薬ジャーナル 54 巻第 3 号 (2018 年 3 月) 医薬ジャーナル社, 151-153.
- 4) 坂本達彦、桂田武彦  
: 「潰瘍性大腸炎」病態を理解して組み立てる 薬剤師のための疾患別薬物療法 IV. 免疫疾患/骨・関節疾患/血液・造血器疾患/内分泌・代謝疾患、改訂第 2 版 (2018 年 3 月) 南江堂, 2-13.

【学会・講演会発表】

<国際学会>

<全国学会・シンポジウム等招待講演>

1) 西村あや子.

: 妊娠期における糖尿病の薬物療法～糖尿病治療薬の近年の動向～

第28回日本医療薬学会年会シンポジウム60「妊娠と糖尿病 薬剤師の果たすべき役割を考える」(2018年11月, 神戸)

2) 齋藤佳敬.

: マグネシウム投与によるシスプラチン起因性腎障害の予防効果およびその機序の解明.

第28回日本医療薬学会年会 Postdoctoral Award 受賞講演(2018年11月, 神戸)

3) 今井俊吾.

: データマイニング手法を用いた副作用発現リスク推定モデルの開発と臨床応用に向けた展開.

第12回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム「若手シンポジウム」(2018年9月, 札幌)

4) 山田武宏.

: Antimicrobial stewardship Program の多職種連携による実践～薬剤師の立場から

第29回日本臨床微生物学会スウィーツセミナー(2018年2月, 岐阜)

<全国学会・一般演題>

1) 小林洋平、山岡怜央、山崎浩二郎、熊井正貴、笠師久美子、山田武宏、井関 健.

: 救急/集中治療領域における薬剤師介入の効果(ポスター発表)

第28回日本医療薬学会年会(2018年11月, 神戸)

2) 熊井正貴、加藤信太郎、小柳 遼、久保田康生、古堅彩子、鳴海克哉、小林正紀、笠師久美子、土居由有子、郡 修徳、井関 健.

: 病院・薬局薬剤師を対象としたターミナルケアに関する態度尺度(FATCOD-Form B-J)を用いた意識調査(ポスター発表)

第28回日本医療薬学会年会(2018年11月, 神戸)

- 3) 堤 竹藏、今井俊吾、堤 佳那、山田武宏、笠師久美子、小林正紀、井関 健.  
：リネゾリド投与患者における嘔吐発現の因果関係の検証（ポスター発表）  
第 28 回日本医療薬学会年会（2018 年 11 月，神戸）
- 4) 今井俊吾、山田武宏、笠師久美子、新沼悠介、小林正紀、井関 健.  
：データマイニング手法を用いたバンコマイシンによる腎機能障害発現割合  
推定モデルの構築.  
第 28 回日本医療薬学会年会（2018 年 11 月，神戸）
- 5) 熊井正貴、加藤信太郎、小柳 遼、久保田康生、古堅彩子、鳴海克哉、  
小林正紀、笠師久美子、土居由有子、郡 修徳、井関 健.  
：病院・薬局薬剤師を対象としたターミナルケアに関する態度尺度  
(FATCOD-Form B-J) を用いた意識調査（ポスター発表）  
第 28 回日本医療薬学会年会（2018 年 11 月，神戸）
- 6) 石川修平、小林正紀、橋本直樹、山田武宏、久住一郎、井関 健.  
：クロザピン誘発性流涎症(CIS)の 発現リスク因子の探索  
第 2 回日本精神薬学会（2018 年 9 月、名古屋）
- 7) 古堅彩子、西村あや子、小林正紀、馬詰 武、井関 健.  
：乳汁および血漿中における benzodiaepine 系薬剤の LC/MS/MS 定量法の構築  
(ポスター発表)  
医療薬学フォーラム 2018 第 26 回クリニカルファーマシーシンポジウム  
(2018 年 6 月、東京)
- 8) 富山直樹、山田武宏、福元達也、石黒信久、井関 健  
：カルバペネム系注射薬の使用量・使用期間とその緑膿菌耐性発現率との  
関連性調査（ポスター発表）  
日本薬学会第 138 年会（2018 年 3 月，金沢）
- 9) 巽 道代、笠師久美子、熊谷聡美、村上壮一、七戸俊明、松下貴恵、  
中澤誠多朗、武田宏司  
：肝門部胆管癌術後合併症に対して半消化態栄養剤を併用することで  
栄養改善を認めた 1 例  
第 33 回日本静脈経腸栄養学会学術集会（2018 年 2 月、横浜）

<学会地方部会・研究会・その他の院外における発表>

- 1) 新沼悠介, 今井俊吾, 山田武宏, 鏡 圭介, 山神 彰, 笠師久美子, 小林正紀, 井関 健.  
: 腎機能低下患者へのバンコマイシン初回負荷投与の安全性調査  
第 32 回北海道 TDM 研究会研究発表会
- 2) 山神 彰, 山田武宏, 大廣洋一, 佐藤 淳, 北川善政, 石黒信久, 今井俊吾, 小林正紀, 井関 健.  
: 下顎埋伏智歯抜歯術におけるセフカペンピボキシルとアモキシシリンの手術部位感染予防効果の比較  
第 32 回北海道 TDM 研究会研究発表会
- 3) 三上英明, 石川修平, 小林正紀, 鳴海克哉, 古堅彩子, 山田武宏, 井関 健.  
: クロザピン誘発性流涎症の機序に関する研究  
第 32 回北海道 TDM 研究会研究発表会
- 4) 沖 洋充.  
: 医療安全管理部門における薬剤師専従 GRM に求められる機能「北海道大学病院の場合」  
第 1 回 日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum 専従薬剤師 GRM のためのワークショップ (2018 年 10 月, 東京)
- 5) 山田武宏.  
: AS (抗菌薬適正使用支援) プログラムの推進ポイント  
アムビゾームライブ配信講演会 (2018 年 9 月, 東京)
- 6) 齋藤佳敬.  
: 増加し続ける免疫チェックポイント阻害薬の投与にどのように向き合うか  
Lung Cancer Seminar in Toyohashi 20180831 (2018 年 8 月, 豊橋)
- 7) 西村あや子.  
: 妊婦・授乳婦専門薬剤師の活動～妊婦・授乳婦の薬物療法を考える～  
札幌病薬新任薬剤師研修会 (2018 年 7 月, 札幌)
- 8) 山田武宏.  
: 感染制御部門の活動～AST と ICT～薬剤師の視点から  
江別市立病院院内感染管理職員研修会 (2018 年 7 月, 江別)
- 9) 山田武宏.  
: Antimicrobial stewardship の実践において薬剤師が果たすべき役割  
第 7 回感染制御専門薬剤師セミナー (2018 年 6 月, 釧路)

- 10) 沖 洋充.  
：医薬品安全性情報報告制度と 医薬品副作用被害救済制度について  
医薬品安全管理責任者等講習会・基礎編（日本病院薬剤師会主催）  
医薬品安全管理責任者等講習会（2018年6月24日，東京）
- 11) 沖 洋充.  
：医薬品安全性情報報告制度と 医薬品副作用被害救済制度について  
医薬品安全管理責任者等講習会・基礎編（日本病院薬剤師会主催）  
（2018年6月10日，大阪）
- 12) 西村あや子.  
：妊婦・授乳婦薬物療法の情報源とリスクカテゴリー  
平成30年度春期 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師講習会  
（日本病院薬剤師会主催）（2018年5月，東京）
- 13) 新沼悠介、今井俊吾、富山直樹、鏡 圭介、山神 彰、石黒信久、  
福元達也、山田武宏、小林正紀、井関健  
：血液培養陽性患者における de-escalation の実施状況とその有用性調査  
第65回北海道薬学大会 北海道病院薬剤師会会員研究発表会  
（2018年5月、札幌）

<院内講演会等での発表>

- 1) 山田武宏，石黒信久.  
：抗菌薬適正使用について  
第80回院内感染対策講演会（2018年12月4日，北海道大学病院臨床大講堂）
- 2) 小林 准.  
：L-メチオニン ( $^{14}\text{C}$ ) 注射液の製造結果—2018年度上半期—  
北大病院 PET 薬剤製造施設教育訓練プログラム  
（2018年10月16日、北海道大学医学部 中研究棟5階 5-1 共通セミナー室）
- 3) 宮前祐士  
：平成29年度のインシデントを振り返って  
糖尿病治療薬安全管理講習会（2018年10月3日、北海道大学病院臨床大講堂）
- 4) 沖 洋充.  
：医薬品等副作用被害救済制度について  
医薬品に関する院内講習会（2018年7月31日，北海道大学病院臨床大講堂）
- 5) 小林 准.

: 2017 年度 ( $^{11}\text{C}$ ) L-メチオニン注射液の製造・監査報告  
北大病院 PET 薬剤製造施設教育訓練プログラム  
(2018 年 5 月 15 日、北海道大学医学研究院 管理棟 大会議室)

**【競争的獲得資金】**

**1. 科研費 基盤 C (1 名)**

- 1) 抗 MRSA 薬ダプトマイシンによる骨格筋毒性回避のための基盤研究」  
(山田武宏；平成 28—30 年度：課題番号 16K08901)

**2. 科研費奨励研究 (5 名)**

- 1) 「水分負荷に着目したシスプラチン起因性腎障害に対する簡便かつ効果的な予防法の探索」  
(齋藤佳敬；課題番号 18H00438)
- 2) 「データマイニング手法を用いた副作用発現割合の定量的評価モデルの構築とその臨床応用」  
(今井俊吾；課題番号 18H00430)
- 3) 「最適な BCR-ABL-TKI 選択のための簡便な ABL 変異検出法の確立」  
(仁木加寿子；課題番号 18H00425)
- 4) 「向精神薬の乳汁中薬物濃度モニタリングシステムの構築」  
(西村あや子；課題番号 18H00423)
- 5) 「分子標的抗がん薬の適正使用を目指した至適血中濃度の確立」  
(田澤佑基；課題番号 18H00382)

**3. その他**

- 1) 「データマイニング手法を用いた副作用発現リスクの定量的評価モデルの開発～ガンシクロビル誘発性血小板減少症発現割合の推定モデルの構築～」  
代表研究者：今井俊吾.  
一般社団法人日本医薬品情報学会 平成 30 年度 課題研究班採択課題

**【受賞・表彰】**

**井関 健**

平成 30 年度日本病院薬剤師会 病院薬学賞

**笠師久美子**

「臨床薬剤業務の展開ならびに人材育成への寄与」

日本薬学会北海道支部 医療薬学貢献賞（実務分野）

**今井俊吾, 山田武宏, 小林正紀, 笠師久美子, 井関 健**

「データマイニング手法を用いたガンシクロビル誘発性好中球減少症の要因分析」 平成 30 年度日本医療薬学会 論文賞

**齋藤佳敬**

「マグネシウム投与によるシスプラチン起因性腎障害の予防効果およびその機序の解明」 平成 30 年度日本医療薬学会 Postdoctoral Award

**石川修平**

「クロザピン誘発性流涎症の発現リスク因子の探索」

2018 年度日本精神薬学賞（一般の部 口頭部門）

**新沼悠介, 今井俊吾, 山田武宏, 鏡 圭介, 山神 彰, 笠師久美子, 小林正紀, 井関 健.**

「腎機能低下患者へのバンコマイシン初回負荷投与の安全性調査」

第 32 回北海道 TDM 研究会研究発表会 優秀演題賞

**山田武宏**

北海道大学医学部エクセレント・ティーチャー賞(平成 29 年度開講講義対象)